

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：平成30年8月2日

## TOPPAN × 袋井市 「未来の教室」実証事業



～Edtech (IT等を駆使した先端教育法) の普及に向けて～



2018.8.2袋井市総合教育会議@庁議室

### ■ 目指す「未来の教室」 (= 未来の学び方) の姿

#### ▽授業改善

##### これまでの授業

子供たちが何の問題もなく、  
問題が解けるようにするための  
指導的な教育。

教師主導の画一的授業

#### ▽家庭学習

##### これまでの家庭学習

すべての子供たちに共通した  
宿題を与え、基礎学力の定着を  
図る反復学習が基本。

均一理解度を前提とした  
固定教材

##### これからの授業

子供たちが自ら如何に課題を見つけ、  
試行錯誤しながら課題が  
解決できるようにするための  
学びを重視した教育。

子供主体のアクティブで多様な授業

##### これからの家庭学習

子供一人ひとりが、  
自らの能力に応じて意欲的に  
学ぶことができる個別学習の  
実践が基本。

独りでも学べるレクチャー機能 + 個に  
応じたアダプティブ教材

## ○実証事業の概要

### (1) ねらい

子供たち一人一人の資質・能力に適した学習を進めるため、タブレットを使った新しいスタイルの授業（=未来の学び方）を実践し、その効果を検証する。

### (2) 実施体制

実証事業受託者：凸版印刷株式会社

授業・学習システムの提供：凸版印刷(株)、学校図書(株)、(株)LoiLoほか

実施フィールドの提供：袋井市、袋井市教育委員会（袋井市立三川小学校）

### (3) 内容

三川小学校5年生（2年目以降は5、6年生）約40人（2年目以降が約80人）に一人一台タブレットパソコンを貸与し、新しいスタイルの授業を実践する。

ア 基礎・基本を効率的に学び、発展的な学習時間を生み出す学習プログラム

イ デジタル思考ツールを活用した思考を深める学習プログラム

ウ 学校と地元企業をつなぎ、本物に触れる教育プログラム

### (4) 実施期間

3カ年（平成30～32年度）

採択事業の契約は単年度毎、次年度以降は別途公募がある見込み

## 公立校が利用可能な（教科書完全準拠）子供たちが各々のペースで基礎基本を独習出来る学習サービスの開発

デジタル教科書 ×  yakuKey

児童のペースに合わせたデジタルドリル(やるKey)で独習



【実証予定教科】 ■ 2018年度：小5算数(学校図書版)  
■ 2019～2020年度：小5・6算数(学校図書版)

## 「思考ツール」を活用した学習プログラム（授業案）の創出により思考スキルの育成や向社会的性の向上を目指す

※アドバイザー：関西大学 黒上 晴夫教授



基礎学力

考える力